

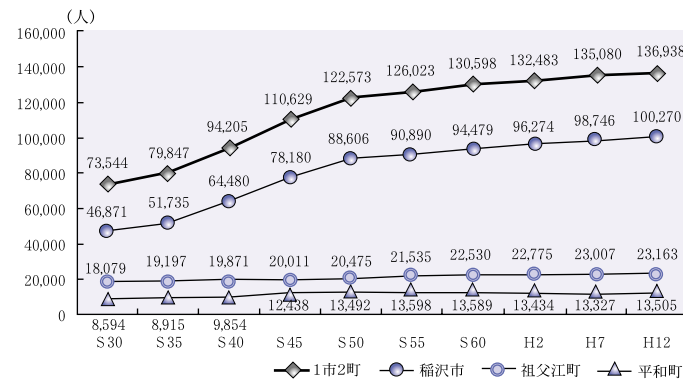
1市2町の人口・世帯数

人口

1市2町の人口は、現在の市町の区域が形成された昭和30年(1955年)以降の約50年間に、約2倍の約137,000人に達しました。

稲沢市においては、昭和30年代から40年代を通じて急激に人口が増加しましたが、昭和50年代以降は緩やかな増加傾向を示しています。祖父江町においては、昭和30年代以降一貫して人口が緩やかに増加しています。平和町においては、昭和40年代に大きく人口が増加し、昭和50年代後半から微減に転じましたが、最近では再び微増傾向を示しています。

▼1市2町の国勢調査人口の推移
資料:「国勢調査」総務省統計局

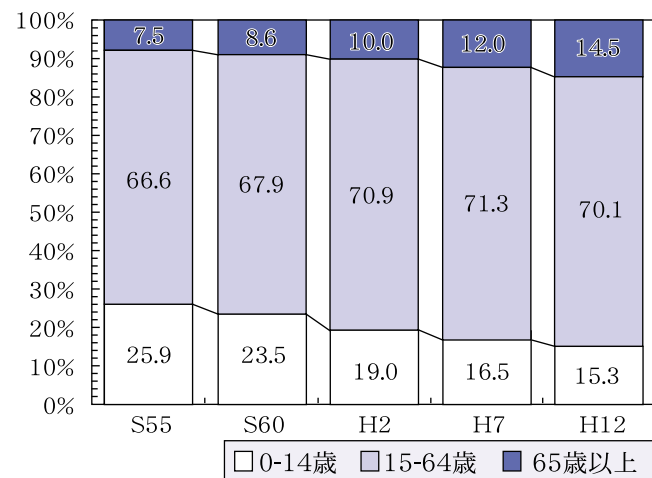


年齢別人口

1市2町の老年人口(65歳以上人口)比率は全国平均に比べて若干低く、愛知県内の平均像と同様に現在のところ高齢化の進行は比較的緩やかです。

しかし、1市2町の生産年齢人口(15歳~64歳人口)比率は平成2年から7年までにピークを迎え、その後は減少に転じている一方、老年人口比率については、一貫した上昇傾向を示し20年間で約2倍に達しており、1市2町においても少子高齢化が確実に進行しています。

▼1市2町の年齢3区分別人口の推移
資料:「国勢調査」総務省統計局

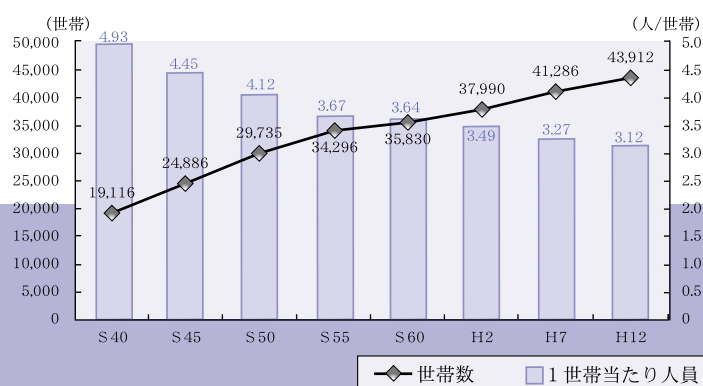


世帯数

1市2町の世帯数は、一貫して増加しており、平成12年には約44,000世帯に達しました。

1世帯当たり人員は、昭和40年代の4.93人/世帯から減少を続け、平成12年には3.12人/世帯となっています。

▼1市2町の世帯数及び1世帯当たり人員の推移
資料:「国勢調査」総務省統計局

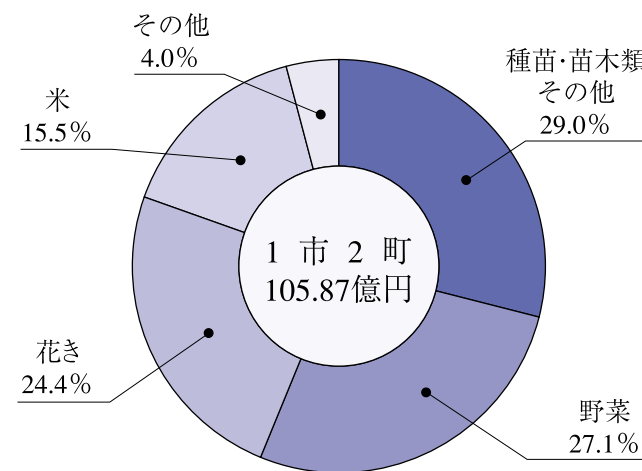


1市2町の産業

農業

平成13年における1市2町の農業産出額は約106億円であり、県内市町村中、豊川市、西尾市に次ぐ第7位にランクされ、尾張地方では第1位に相当します。その品目別内訳は、「種苗・苗木類・その他」が29%を占め、次いで「野菜」27%、「花き」24%の順になっています。

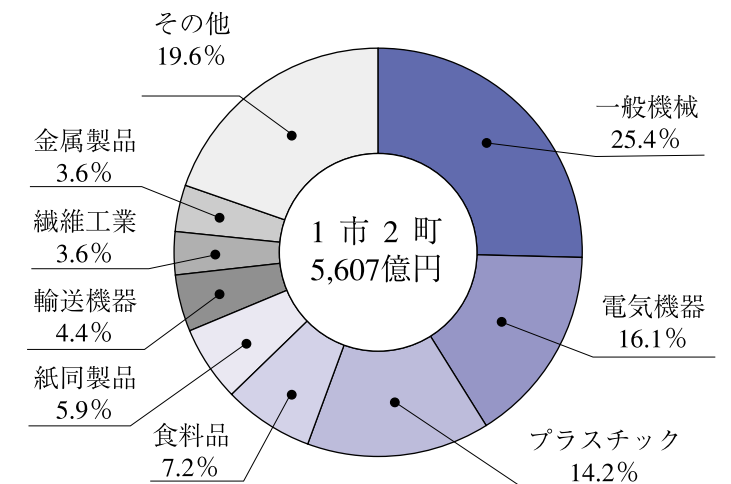
▼1市2町の農業産出額の品目別内訳(平成13年)
資料:「愛知農林水産統計年報」東海農政局



工業

平成13年における1市2町の製造品出荷額等は約5,607億円であり、県内市町村中、碧南市、大府市に次ぎ、半田市、一宮市を上回る第18位に相当します。その業種別内訳は、「一般機械」が25%を占め、次いで「電気機器」16%、「プラスチック」14%の順になっています。

▼1市2町の製造品出荷額等の業種別内訳(平成13年)
資料:「あいちの工業」愛知県企画振興部



商業

平成14年における1市2町の小売業年間販売額は約1,261億円であり、県内市町村中、半田市、刈谷市に次ぐ第12位に相当します。平成3年以降、平成9年まで大型店舗の店舗によって販売額が急増し、それ以降は安定した推移を示しています。

▼1市2町の小売業年間販売額の推移
資料:「あいちの商業」愛知県企画振興部

